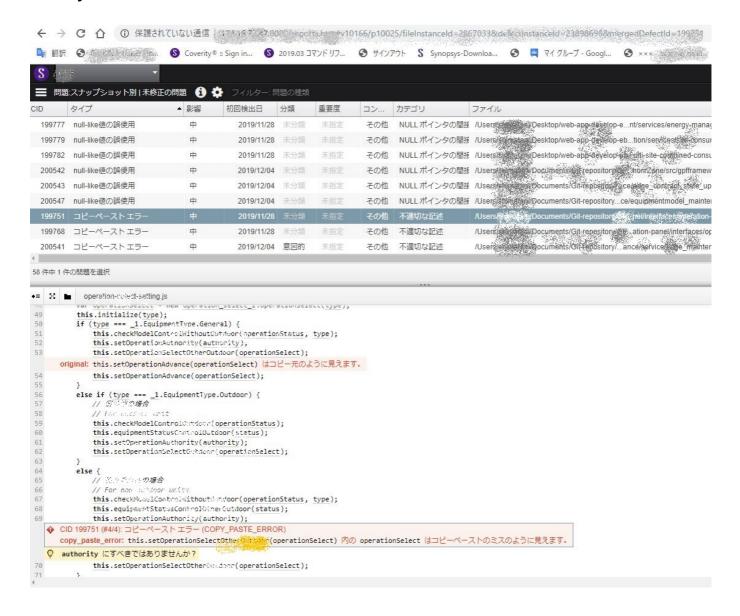
# Coverity Connect から指摘を抽出する方法

- ライセンスを所有する者が指摘を収集する場合に利用します
- connect2.py を使って、例えば下図 CID=199751 の指摘をテキストファイルに抽出することができます

### **Coverity Connect 画面**



#### 出力結果

テキスト

```
"lineNumber": 54,
        "description": "this.setOperationAdvance(operationSelect) はコピー元のように見えます。",
        "lineNumber": 70,
        "description": "this.setOperationSelectOtherxxxxxxxxx(operationSelect) 内の operationSelect はコピーペーストのミスのように見えます。",
        "lineNumber": 70,
        "description": "authority にすべきではありませんか?",
```

- エクセル読み込み
  - 区切り文字に、コンマとコロンを指定します

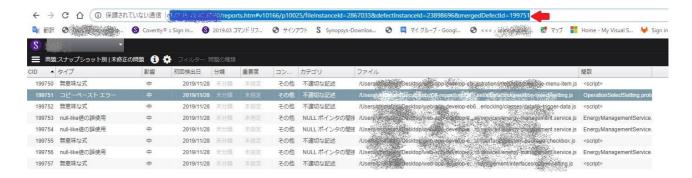


#### 準備・条件

- Coverity ユーザーライセンスが必要です
- Coverity Connect 接続環境
- Python3 実行環境 モジュール sys、requests、json、re、urllib.parse を使いますので、予めインストールしておいてください
- UTF-8 エンコーディング環境(Shift-JIS ファイルを生成するとエラーが出ますので、Linux環境が望ましいです)

## 使い方

- Coverity Connect にログインします
- プロジェクトとストリームを選択し、指摘一覧を表示します
- 取得したい指摘を選択します
- 表示されたURLをコピーします



- プロジェクトが保存されているフォルダからLinuxシェルを開きます
  - エクスプローラーを使い、Shiftを押しながらフォルダを右クリックすると、コンテキストメニューに「Linuxシェルをここに開く」が現れます
- Linux シェルが開いたら、 次のコマンドを入力し、引数のURLを "・・・"で囲んで実行します
- \$ python3 connect2.py <ユーザーID> <パスワード> "URL"
- 例
- o \$ python3 connect2.py hoge ??????
  "http://xxx.xxx.xxx:8080/reports.htm#v10166/p10025/fileInstanceId=2871715
  &defectInstanceId=24188306&mergedDefectId=200543"

。 下図の表示が出て終了します

```
| Neighbor 19 /mmt/c/Users/states//Documents/Git-repository/ 1970-services/src$ | Neighbor 19 /mmt/c/Users/states/Git-repository/ 1970-services/src$ | Neighbor 1970-services/src$ | Neigh
```

○ ファイル "source4-200543.txt" に指摘が出力されます

```
"lineNumber": 105,
         "description": "分岐条件 !edge item["items"] は、
false に分岐しました。",
         "lineNumber": 105,
         "description": "分岐条件!
("items" in edge_item) || !edge_item[&quo
t;items"] は、false に分岐しました。",
         "lineNumber": 113,
         "description": "条件!
("items" in edge_device_item) は true となりました。",
         "lineNumber": 113,
         "description": "条件!
("items" in edge_device_item) || !edge_de
vice_item["items"] は true となりました。",
         "lineNumber": 113,
         "description": "代入: edge_device_data = (!
("items" in edge_device_item) || !edge_de
vice item["items"]) ?
 None : edge_device_item["items"][0]",
         "lineNumber": 116,
         "description": "分岐条件 edge_device_data は、false に分岐しまし
た。",
         "lineNumber": 119,
         "description": "分岐条件
current_certification_state != edge_device_model_certificatio
n_state は、false に分岐しました。",
         "lineNumber": 129,
         "description": "条件
current_certification_state == 1 は true となりました。",
         "lineNumber": 129,
         "description": "条件 new certification state == 8
は true となりました。",
         "lineNumber": 129,
         "description": "条件
(current_certification_state == 1) && 
(new_certification_state == 8) は true となりました。",
         "lineNumber": 129,
         "description": "分岐条件!
(((current_certification_state == 1) && 
(new_certification_state == 8)) || 
((current certification state == 8) && 
(new certification state in {1, 9}))) は、false に分岐しまし
た。",
         "lineNumber": 137,
         "description": "null のような値 edge device data のプロパティにアク
セスしています。",
```

。 以上